

ストップ! 安倍9条改憲

憲法問題 Q&A

安倍首相が狙う9条改憲。どう考えればいいでしょう。



9条って何ですか?

日本は15年間の侵略戦争でアジア・太平洋諸国民2000万人以上、日本国民310万人以上の命を奪いました。その痛苦の反省から「二度と戦争しない」という決意をこめ、憲法9条に「戦争放棄」「戦力不保持」を書き込みました。9条は全世界への平和の誓いです。9条があるからこそ、自衛隊が海外で人を殺したり、殺されたりしたことは一度もありません。9条のおかげで軍事予算の巨大化も抑えられました。9条は日本が平和国家として発展、繁栄してきた礎です。

「二度と戦争しない」「世界への誓い」

無制限の武力行使に道



しまいます。

自衛隊は、安保法制によって米軍の艦船や航空機の防護などを行うようになってきました。

それでも2項が壁

になり、海外で武力行使を目的にした戦闘には参加しないといわざるをえません。

そこで2項を空文化し、無

制限の武力行使を可能にし

ようというのが安倍首相の狙

いです。改憲の焦点は「自衛

隊が合憲か違憲か」でなく

「無制限の武力行使を許さな

い」なのです。

改憲の何が問題?

2項を空文化

安倍首相は9条

2項(戦力不保持)

を残し、自衛隊を

書き込むことを提案していま

す。首相は「何も変わらない」

といいますが「後からつくっ

た法律は前の法律に優先す

る」という法律の世界の原則

によつて、2項は空文化して

自衛隊に感謝の気持ちを表したいが...

改憲団体が「自衛隊への感謝の気持ちを込めて自衛隊を憲法に明記しましょう」というチラシを配っています。国民が感謝する自衛隊とは災害救助で頑張る自衛隊です。しかし首相が書き込もうとしているのは、そこではあ

りません。憲法違反として歴代政権が認めてこなかった集団的自衛権の行使を容認した「閣議決定」と、それに基づく安保法制を実行する自衛隊です。

「感謝」どころか、隊員の命を危険に陥れるものです。

隊員の命が危ない

